

## 令和7年度 備前市まち・ひと・しごと創生懇談会 意見聴取資料

【事業名】 伝統工芸美術品「備前☆」の継承・活用による地域振興事業  
 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第 2 世代交付金)  
 ※ 旧デジタル田園都市国家構想交付金

【本会での協議事項(ご意見をいただきたい事項)】

委員の皆様のご知見に基づき、以下の 2 点について忌憚のないご意見をお願いいたします。

### ①事業展開の方向性について

「ギャラリストとの連携」を主軸とする現在のシフトについて。

本国庫補助事業の終了後に、備前焼の販路開拓が自走するために、今のうちに強化しておくべき機能は何か。

### ②さらなる有益な事業展開のアイデア

備前焼・虫明焼・刀剣の「3 つの工芸」を組み合わせた、独自の価値提案(パッケージ化など)の可能性。デジタル活用(越境 EC や SNS、デジタル証明書等)による新たな展開について。

【事業概要】備前市、瀬戸内市との共同事業

伝統工芸品である備前焼、虫明焼、刀の発展及び振興を目的に、認知度の向上や販路拡大により、伝統工芸継承のための後継者の確保や育成が促進されることを目指す。

【事業年度】令和5年度～令和9年度(現在3年目)

R5年度 事業費 38,170 千円

地域商社設立に関する調査研究やヨーロッパを中心としたテストマーケティング、ミシュラン星付きレストラン等でのサンプリング調査などを行った。

テスト販売額:約 500 千円 来場者数約 4,000 人

R6 年度 事業費 63,520 千円

ヨーロッパを中心とした展示会を開催やテストマーケティング調査、海外ギャラリー招聘による備前焼作家の紹介や購入サポートを行った。

販売成果:約 5,300 千円(うちギャラリー招聘が約 4,000 千円)

展示会来場者数:約 15,000 人

【事業費】R7 事業費85,000千円(市:42, 500千円、国:42,500 千円)※今年度

R8事業費48, 000千円(市:24, 000千円、国:24,000 千円)

R9事業費42, 500千円(市:21, 250千円、国:21,250 千円)

R6年度の成果で、海外ギャラリー招聘事業が一番費用対効果の高い成果となった。このため、R7年度は、海外ギャラリーとの連携による展示販売を行い、現在の結果は以下のとおりとなった。

施策内容	事業費	販売総額	分析・評価
シンガポール:ギャラリスト招聘	990 千円	約 1,300 千円	備前市へ招聘した際の講演などが主な費用。
アメリカ:ギャラリー連携展示販売会	11,900 千円	約 4,500 千円	7,000 人を集客し、高額な商品の販売にもつながった。
NY:日本料理店ショーケース展示	1,200 千円	12月～実施中	ブロードウェイで動画放映と作品展示し、興味を持った方へ販売。

**【分析結果】** 多数の一般客を集める大規模展示会よりも、「目利き(ギャラリスト)」を招聘し、その顧客ネットワークを活用する手法が、伝統工芸品の単価に見合った最も効率的な販路であると結論づけました。

**【今後の方向性】** 陶友会が地域商社の代わりとなり、各作家様の作品を取りまとめて販売をしていくことが地域にとって理想形であると考えられる。また、海外との販売のやり取りにおいては、越境 EC サイトを通じて販売することが有益であると考えられるため、現地への誘導や体験の案内なども含めた総合的な案内サイトを開設すると同時に、ECサイトで手軽に海外ギャラリーが買い付けできる仕組みを構築したい。